

令和5年度
事業報告書



社会福祉法人摂津宥和会

4. 多機能型事業所「摂津市立ひびきはばたき園」

(1) 概況

ひびきはばたき園では、総合支援法に基づく多機能型事業所として、生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）の各事業を実施した。

生活介護では、自閉症スペクトラムや行動障害のある方に対して、構造化を中心とした手法を用いることで、活動や行動に見通しを持ち作業に集中ができ、落ち着いて過ごせる環境を継続して整備した。そういった取組みが実を結び新たな利用者獲得へ繋がった。昨年度同様に近隣の企業から作業を請負い、生産活動の機会を提供し昨年以上の高い工賃支給額へと繋がった。

就労移行支援では、2名の利用者の進路として、障害者職業能力開発センターせつつくすのき及び就労継続支援B型事業所に結びついた。

就労継続支援B型では、「小型家電リサイクル事業（希少金属の再資源化）」と施設外就労「食品トレイ等選別業務」、その他請負作業とシール張り作業の充実した取り組みができた。また、利用者の就労意欲の向上と地域生活での潤いにも繋がった。

新たな取組として、令和5年度より開始した送迎サービスについては、自立訓練利用者2名が利用され、9月より個別に登園支援を積み重ね、12月より2名は自力登園に移行する事ができた。

今年度も利用者確保の為に、支援学校や関係機関への情報提供や連携を強化した。

その他、園舎等の経年劣化により、照明器具のLED取り替えやフェンスの張り替え等の環境整備を行った。今後も定期的な点検と計画的な改修・修繕が円滑に進むよう努めたい。

ひびきはばたき園では、職員の資質向上・意識疎通を図りながら、福祉を支える人材育成に努め、利用者が求める良質なサービス提供ができるように取り組んだ。

(2) 支援の状況

■生活介護

生活介護では、利用者一人ひとりに応じた、専門的知識・技術に基づく「日中活動の場」を提供し、安全性の確保や園内支援の充実に重点を置いた取り組みを実施した。また、昨年度に引き続き構造化支援に取り組み、利用者が活動できる場を提供した。その他、近隣の企業よりシール張り作業を請け負い、生産活動の機会の提供を通して達成感や社会の一員としてのやりがい・いきがいをを感じる活動に取り組み、工賃として還元した。

① 個別支援計画

多様化した個別のニーズに応じるため、半年に一度個別支援計画の作成・見直し、個別アプローチ、個別に応じたサービスを提供した。また、緊急時の対応については、状況に応じて適切な支援を行った。

② 支援者づくり

障がい者の『自立』には、支援者は必要不可欠である。一人でも多くの理解者や、サポートを得るために積極的にボランティアを受け入れ、制度サービスの活用に努めてきた。

③ 日中活動の充実（療育活動・作業訓練・生活支援）

個別支援を基本とし、個別プログラムの充実や安全を確保するために活動内容・障がい程度を基準に、いきいき・わくわく・うきうき・のびのび・かがやきの5クラスに編成し活動を行った。

（ア）いきいきクラス

理学療法士の指導による、機能回復・維持訓練やリラクゼーション活動・リラックスタイム・気候に応じた外気浴など、ゆとりを持ったプログラムを設定し基本的生活習慣の獲得・向上を目指した。

（イ）わくわくクラス

集団を意識しながら個人に応じた作業を取り入れ、運動・生産活動（シール貼り作業）・制作活動・レクリエーションなどの活動を行った。

（ウ）うきうきクラス

安心して見通しが持てるよう構造化を個別に行い、課題に応じた作業を取り入れ運動・散歩・レクリエーションなどの活動を行った。

（エ）のびのびクラス

作業手順や見通しの立つスケジュールを提示する構造化を行った。和紙作業・生産活動（シール貼り作業）・制作活動・レクリエーションなどでは集団を意識できる活動を行った。

（オ）かがやきクラス

利用者の健康維持管理に努め、理学療法士による機能回復・維持訓練を実施した。調理訓練・個別作業・集団体操など多彩なプログラムを提供するなか、個々に応じた活動を行った。

④ 生産活動（収入状況）

(円)

内 容	年間収入	事業所
シール貼り作業	43,375	(株)フレッシュファーム
収 入 合 計	43,375	

⑤ 工賃支給状況

(円)

工 賃 支 給 総 額	利用者数	平均工 賃 /年
43,375	9	4,819

■就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

就労移行支援では、カリキュラム（ビジネスマナー、SST（ソーシャルスキルトレーニング）、面接、履歴書作成等）を充実させ実践的な訓練（面接会等）と、仕事のイメージをより実感し理解し経験する為の職場実習の充実に努めた。また、就労後も継続のためのきめ細かな職場定着支援にも取り組んだ。その他、支援学校や関係機関への啓発活動と、ハローワーク、茨木・摂津障害者就業・生活支援センター、せつつくすのき、関係機関との連携も強化した。

就労継続支援B型では、障がい者の働く場と位置づけ、安定したサービスの提供に努め「障がい者の自立へ向けての支援」に取り組んできた。また、積極的な働きがけにより、官公需要や地域の企業からの継続的な作業受注に繋がった。その他、就労移行支援の作業資源を作業プログラムに取り込む事により、作業内容の拡大を図った。

自立訓練（生活訓練）では、地域で暮らすために必要な基礎的な生活力を向上させる目的で、調理訓練や身だしなみ、カリキュラムを行った。また、B型や就労移行の作業を訓練資源として活用することで、働くことへの意識づけや就労準備における基礎作りが行えた。

その他、市からの業務受託事業（食品トレイ等選別業務）に8名の利用者と職員で従事し、施設外就労として、就労継続支援B型利用者の訓練資源の一つとしても活用することができた。また、環境業務課・障害福祉課の協力の下、小型家電リサイクル事業のパソコン解体に取り組む事で、作業内容の幅が広がり充実した作業の提供ができた。

① 作業訓練と還元金

個別支援計画（就労移行支援は3ヶ月ごと、就労継続支援B型は6ヶ月ごとに見直し）に沿った支援を実施した。

陶芸や軽作業（電気部品の加工作業、小型家電リサイクル事業）と食品トレイ選別等業務など幅広い作業に取り組んだ。そして、還元金支給取扱い要綱の基に工賃を配分した。

② 生活支援プログラムの充実

利用者の個々のニーズに即した生活支援や、自治会・情報提供・運動などを実施した。

③ 主体性、自己決定の尊重・支援とエンパワメントを重視した支援

生活支援プログラムの中で自らの考えや思いを表現・実現できるように支援した。

④ 家庭生活、地域生活支援

ニーズや家庭状況に合わせて必要な利用者については、家庭訪問や障害福祉課、相談支

援事業所と連携しながら生活支援を行った。また、その他、健康で安心・安全な生活が送れるよう通院支援も実施した。

⑤ ボランティアや実習生の受け入れ

社会福祉活動への関心や参加が増加している中、ボランティア受け入れの理念統一とシステムの整備、啓発を続けてきた。実習生の受け入れについても教育と進路について考えてもらうことを目的に積極的に受け入れてきた。

⑥ その他

施設支援計画や機関紙など、利用者への情報提供や案内文には平易な表現やひらがなやルビ、写真を使用、また苦情解決システムの充実に努めた。

⑦ 作業指導

■就労移行支援、就労継続B型、自立訓練（生活訓練）

・ 陶芸

市主催事業の記念品などの大量注文を中心に、干支の置物製作・販売も並行して行い、幅広くさまざまな陶器の受注製作を行った。

・ 軽作業

株式会社ダイキンサンライズ摂津の電気部品のコード巻き作業を中心に、株式会社フレッシュファームからのシール貼り作業を受注した。また、「障害者週間」に配布するカイロ袋詰め作業を摂津市の担当課より請け負った。この他 3 ヶ月に 1 回、建設会社からのダイレクトメール袋詰め作業にも取り組み、利用者一人ひとりが役割と目標をもって取り組むことができた。

・ 食品トレイ選別等業務

摂津市リサイクルプラザにて食品トレイの分別・選別を行い、資源リサイクルとごみに選別した。施設外就労を行う事で、利用者の経験拡大と工賃向上に繋がり、リサイクルへの意識も向上した。

・ 小型家電リサイクル事業

主にパソコンを解体し、鉄・アルミ・ステンレスそして、金・銅・パラジウム等の希少金属（レアメタル）を海外流出させず国内循環し、社会に貢献できる事業である。作業の拡大と工賃の向上にも繋がった。

⑧ 就労活動

■就労移行支援

(人)

実施日	名 称	場 所	参加者
5 月 19 日	企業事業所見学	(株) F&LC サポート	1
5 月 29 日 ～6 月 1 日	入校体験会	せつつくすのき	1

6月13日	A型事業所見学	エマン	1
9月27日	〃	ギブミーファイブ	1
6月27日 ～30日	企業事業所実習	エスプールプラス	1
7月19日	A型事業所実習	ギブミーファイブ	1
9月4日	企業事業所見学	フレッシュファーム	1
9月19日 ～22日	企業事業所実習	〃	1
10月5日	A型事業所見学	〃	1
2月8日	〃	〃	1
3月7日	〃	〃	1

⑨ 就職状況

■就労移行支援

(人)

事業所名	職 種	所在地	人数
A型事業所ギブミーファイブ	利用者	摂津市	1
障害者職業能力開発センターせつつくすのき	訓練生	摂津市	1

⑩ 生産活動（収入状況）

■就労移行

(円)

内 容	年間収入	事業所
陶芸作業	622,600	
その他	190,585	カネカ労働組合大阪支部等
収 入 合 計	813,185	

■就労継続B型支援

(円)

内 容	年間収入	事業所
清掃作業	184,800	(株)セラ
空缶・古紙回収	39,605	
電気部品の加工作業	510,140	(株)ダイキンサンライズ摂津
建設会社DM作業	53,630	エッグ住まいる工房
シール張り作業	92,377	(株)フレッシュファーム
カイロ袋詰め等請負作業	35,000	摂津市役所
小型家電解体作業	485,862	摂津市役所、一般持ち込み等
食品トレー選別作業	9,323,720	摂津市役所
その他	0	
収 入 合 計	10,725,134	

⑪工賃支給状況

■就労移行支援

(円)

月	工賃支給総額	利用者数	平均工賃
4	9,438	2	4,719
5	9,737	2	4,869
6	10,943	2	5,472
7	10,375	2	5,188
8	9,821	2	9,789
一時金	9,756		
9	9,938	2	4,969
10	10,000	2	5,000
11	9,803	2	4,902
12	9,813	2	9,853
一時金	9,892		
1	9,803	2	4,902
2	10,000	2	5,000
3	9,813	2	9,842
一時金	9,871		

工賃支給総額	平均工賃 / 月
149,003	6,208

■就労継続B型支援

・食品トレイ選別作業

(円)

月	工賃支給総額	利用者数	平均工賃
4	769,640	8	96,205
5	785,970	8	98,246
6	860,520	8	107,565
7	781,710	8	97,713
8	754,730	8	94,341
9	793,070	8	99,133
10	822,180	8	102,772
11	738,400	8	92,300
12	771,770	8	96,471
1	729,880	8	91,235
2	736,980	8	92,122
3	778,870	8	97,358
合計	① 9,323,720	96	97,122

・軽作業

(円)

月	工賃支給総額	利用者数	平均工賃
4	69,772	9	7,752
5	76,500	9	8,500
6	75,000	9	8,333
7	76,749	9	8,527
8	77,625	9	17,094
一時金	76,220		
9	71,667	9	7,963
10	77,125	9	8,569
11	74,048	9	8,228
12	77,106	9	25,213
一時金	149,814		
1	77,250	9	8,583
2	74,738	9	8,304
3	74,474	9	33,447
一時金	226,551		
	② 1,354,639	108	12,542
工賃支給総額(①+②)		平均工賃 / 月	
10,678,359		52,344	

(3) 行事

行事は、生活指導の一環として位置付け、種々の生活場面を導入しレクリエーション的要素・学習的要素を含む取り組みにより、知識・経験の拡大を図ることを目的として実施した。

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
11月23日	スポーツフェスタ 2023	味舌体育館	生介 10 かがやき 4 移行 1 B型 6 自立 1	法人運動会として新たに内容や場所も変わり実施した。室内で行うことにより雨天での中止がなくなった。

12月18日	ジャンボ クリスマス会	各サービス作業室	生介 33 かがやき 1 移行 2 B型 16 自立 3	クリスマスにちな んだ装飾等だけで はなく、一年の思い 出を動画上映した り、宝探し等のゲー ム全サービス合同 で行った。
2月17日 ～21日	つくっ展と 輝けコンサート	摂津市立コミュニ ティプラザ	約200人	作品展とコンサー トを行い、地域への 啓発に繋がった。

■生活介護

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
7月5日	ゆびまるこ ～パステルア ートワークショ ップ～	作業室C	32	外部講師を依頼し、 パステルアートを 通じて自由に表現 する楽しみを体験 できた。
10月17日	フェルトワーク ショップ	作業室C	23	利用者の家族がボ ランティアとして フェルトを使用し た作品作りを実施 した。
5月24日 6月22日 7月10日 8月9日 9月25日 10月16日 11月15日 12月7日 1月26日 2月15日	おやつ作り	かがやき調理室	37	利用者のニーズに 合わせ調理に参加 する者と食べる喜 び重視のグループ に分け実施した。
10月2日	園外活動	京都市青少年科学セ ンター	4	行き先については、 利用者からの希望 を聞き意向に沿え るよう計画をしま した。グループに分 かれ、楽しく外出で
10月11日 10月18日		山田池公園	4	
11月13日 17日		カップヌードルミュ ージアム	13	

27日 29日				きるよう実施した。
12月15日 1月16日		イオンシネマ大日 TOHO シネマズら らぽーと門真	7	
1月19日 24日 31日		ラウンドワン高槻	10	
3月15日	スプリングフェスタ	身体障害者・老人福祉セ ンター集会室	32	職員と利用者が楽し い時間を一緒に過ご し親睦を深めた。

■生活介護かがやき

① 食事会

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
5月30日 31日 6月1日	かがやき食事会	今日亭 守口店	7	食事を楽しむこと で潤いのある園生 活を送ることを目 的とし実施した。

② 社会見学

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
10月25日 26日	かがやき社会見学	ダスキンミュージ アム	7	ミスタードーナツ の工場見学をする 事で、経験拡大を 目的に実施した。

③ 調理訓練

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
5月25日 7月26日 8月17日 9月15日 10月11日 11月14日 11月29日 1月12日 2月29日 3月22日	かがやき調理訓練	かがやき調理室	28	園で調理したおや つを提供し利用者 に食べる喜びを感 じてもらった。

■就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
11月15日 16日	体験学習	大阪歴史博物館 森之宮キューズモ ール	移行 2 B型 17 自立 3	歴史や文化を見て 感じ学び、自分た ちが暮らす町を知 ってもらった。

（４）家庭との連携

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

定例的な個別面談や家族会にとどまらず、必要に応じて個別面談や電話による
情報交換を行った。

項 目	実施日	内 容
個人面談 家庭訪問	随 時	個別支援計画（生活介護・就労継続支援B型は年2回・就労移行支援、自立訓練（生活訓練）は年4回以上）の説明と同意を得た。個別のケースについて必要に応じて個別に面談や家庭訪問を実施することで本人や家族の声を聞き、受容し信頼関係を築き、問題解決を図った。
家族会	随 時	年2回開催し、園の状況や今後について報告会を行った。
機関紙	3カ月ごと 発行	当月の予定や園活動を掲載し、3カ月ごとにカラー印刷で発行した。
月課表	毎月1日 発行	当月の予定を配布した。
連絡帳	毎 日	毎日の連絡帳を通じて、利用者の健康状態・家庭での様子・検温・排泄時間・意見等家族とのコミュニケーションを図った。 （生活介護のみ）
電話連絡	随 時	最も迅速かつ正確な連絡方法であり、即応しなければならない場合に実施した。
その他	適 時	送迎時間の変更や個別での送迎等、家族からの要望に可能な限り迅速に対応した。

① ショートステイ先との連携

家庭の事情等によりショートステイや日中一時を希望される利用者に対しての支援として、ショートステイ先に、園での様子を引き継いだ。また、各事業所とも必要に応じて引継ぎや調整、送迎等の支援を適宜行った。

② 医療との連携

個別に応じて、家族の依頼に基づき円滑な通院ができるように、情報提供や病院との連携を行った。

③ 市との連携

市施策や園運営・支援状況、市内障がい者福祉情勢等の情報交換を行い、利用者ニーズに十分応えられるよう、随時連絡体制を確保した。

④ その他

入所前より詳細な生活内容や発達歴、各種サービスの利用を把握するために支援学校より引継ぎや助言を求めた。また、希望者については円滑な入所ができるよう、事前に進路選択等事業を利用し実習や受け入れを行った。

(5) 法人内他施設との連携

障害者職業能力開発センターせつつくすのきと茨木・摂津障害者就業・生活支援センターの3施設で求人や就労活動の情報提供を密に行い、円滑な支援ができるように連携を図ってきた。また、今後、みきの路との連携を深める為にも、双方の行事への参加等、利用者や職員が交流できるように連携会議を行った。

(6) 健康管理

今年度も感染症予防のため、新型コロナウイルス、インフルエンザ、病原性大腸菌O-157、ノロウイルスの感染拡大を防止するため手洗いを励行し、健康状態の把握に努め、家庭と園の連携で健康管理を図ると共に、今年度は、陽性者が発生した場合に関係機関と迅速に連携しながら対応に当たった。新型コロナウイルス感染予防として、検温・手指消毒・3密防止を徹底した。

① 環境整備

- ・冷暖房調節・換気、温湿度計の管理
- ・薬箱・体温計の整理・管理（医務室） ・医薬品管理
- ・業者による園舎内清掃、消毒 ・手指等のアルコール消毒
- ・マスク ・非接触体温計 ・ペーパーホルダー ・換気器具設置

② 健康の維持・管理

- ・健康カード作成（個人データの整理）
- ・検温（体調不良時には随時） ・血圧測定
- ・理学療法士による運動プログラム ・配慮食・きざみ食の提供
- ・感染症対策（手洗い・検温・視診）

③ 服薬管理

- ・医療調査票作成（通院状況・服薬状況・担当医調査）
- ・服薬管理（活動時間内に服薬する利用者の服薬管理）

④ 作成資料

(ア) 通院状況表

(イ) 服薬調査表

⑤ 健康診断

(ア) 内科医健診

実施日	7月12日・11月8日
-----	-------------

(イ) 血圧・脈拍測定

実施日	随時
-----	----

(ウ) その他健診、検査

歯科健診

実施日	9月27日
-----	-------

検尿

実施日	5月16日・9月21日
-----	-------------

(7) 給食の提供

給食については、利用者の健康の維持・増進、生活習慣病の予防や家庭での食生活の意識向上を目指して実施している。栄養素の摂取不足によって生じるエネルギー及び栄養素欠乏症の予防に留まらず、過剰摂取による健康障害の予防や生活習慣病の一次予防も重要である。給食業務をウオクニ株式会社に委託して20年目となり、月1回定期的に同社の営業・栄養士・調理員・施設側の支援員・栄養士で会議を行い密に連携をとった。利用者にとってより安全で楽しく、美味しく食事をしてもらおう環境作りを考えるよう努めた。食事は、あくまで個人的なものであることから個人が必要とする栄養量を満たした食事摂取基準を算定し、美味しく、衛生的な食事であることにも努めた。また、個別の栄養アセスメントにも対応できるようにした。給食における「食生活の指針」をたて、次のとおり実施した。

- ・給食会議の充実
- ・「給食だより（献立表）」の発刊（月1回）
- ・残食検査の実施
- ・食事提供状態の充実
- ・衛生管理の充実
- ・利用者給食会議

(8) 利用者の状況

①通所状況（在籍者数は月初の人数）

■生活介護

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	37	37	38	38	38	38	38	38	38	38	38	39	
支援日数 (日)	20	20	22	20	21	20	21	21	20	19	20	20	244

延人数 (人)	624	627	692	631	604	613	652	621	598	567	586	617	7,432
------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------

■生活介護（かがやき）

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	8	8	8	7	7	7	7	7	7	6	6	6	
支援日数 (日)	20	20	22	20	21	20	21	21	20	19	20	20	244
延人数 (人)	40	43	49	48	47	42	48	54	44	41	42	37	535

■就労移行支援

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
支援日数 (日)	20	20	22	20	21	20	21	21	20	19	20	20	244
延利用数 (人)	38	40	44	40	42	40	42	41	40	38	40	40	485

■就労継続支援 B 型

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	
支援日数 (日)	20	20	22	20	21	20	21	21	20	19	20	20	244
延利用数 (人)	310	312	344	314	305	316	325	320	312	292	300	310	3,760

■自立訓練（生活訓練）

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
支援日数 (日)	20	20	22	20	21	20	21	21	20	19	20	20	244
延利用数 (人)	60	55	57	57	52	60	59	59	57	53	55	52	676

②年齢別（令和6年3月31日現在）

■生活介護

(人)

年齢 性別	18～19才	20～29才	30才～39才	40才～	計
男	6	9	9	4	28
女	0	4	4	3	11
計	6	13	13	7	39

■生活介護かがやき

(人)

年齢 性別	30～39才	40～49才	50～59才	60～69才	70～79才	80～89才	計
男	1	0	2	0	0	0	3
女	0	0	1	0	2	0	3
計	1	0	3	0	2	0	6

■就労移行支援

(人)

年齢 性別	18～19才	20～24才	25～29才	30才～	計
男	0	0	1	0	1
女	0	1	0	0	1
計	0	1	1	0	2

■就労継続支援B型

(人)

年齢 性別	18～19才	20～24才	25～29才	30才～	計
男	1	2	3	4	10
女	0	0	0	7	7
計	1	2	3	11	17

■自立訓練（生活訓練）

(人)

年齢 性別	18～19才	20～24才	25～29才	30才～	計
男	3	0	0	0	3
女	0	0	0	0	0
計	3	0	0	0	3

③手帳の所持

(ア)療育手帳（令和6年3月31日現在）

■生活介護

(人)

判定 性別	A	B1	B2	計

男	28	0	0	28
女	11	0	0	11
計	39	0	0	39

■就労移行支援 (人)

判定 性別	A	B1	B2	計
男	0	1	0	1
女	0	1	0	1
計	0	2	0	2

■就労継続支援 B 型 (人)

判定 性別	A	B1	B2	計
男	5	5	0	10
女	1	5	1	7
計	6	10	1	17

■自立訓練（生活訓練） (人)

判定 性別	A	B1	B2	計
男	0	2	0	2
女	0	2	0	2
計	0	4	0	4

(イ) 身体障害者手帳 (令和 6 年 3 月 31 日現在)

■生活介護 (人)

級 性別	1 級	2 級	3 級	4 級	計
男	1	6	0	1	8
女	1	2	0	1	4
計	2	8	0	2	12

■生活介護かがやき (人)

級 性別	1 級	2 級	3 級	4 級	計
男	2	1	0	0	3
女	1	2	0	0	3
計	3	3	0	0	6

(ウ) 障害支援区分 (令和6年3月31日現在)

■生活介護

(人)

性別 \ 区分	区分6	区分5	区分4	区分3	計
男	9	10	8	1	28
女	2	4	5	0	11
計	11	14	13	1	39

■生活介護かがやき

(人)

性別 \ 区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	計
男	0	2	1	0	0	3
女	0	1	0	0	2	3
計	0	3	1	0	2	6

(9) 各種会議

利用者の処遇向上と職員間の連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

- ・施設連絡会議 (月2回)
- ・職員会議 (随時)
- ・給食会議 (毎月1回)
- ・虐待防止・権利擁護委員会 (随時)
- ・作品展実行委員会 (随時)
- ・ケース会議 (随時)
- ・サービス向上委員会 (随時)
- ・リーダー会議 (随時)

(10) 災害防止対策

防災用設備の自主点検実施のほか、災害時の職員の役割分担を明確化、緊急連絡網の職員への周知徹底を図ると共に、毎月の火災を想定した避難訓練を実施した。また、ふれあいの里消防総合訓練 (通報、避難、消火訓練) を年2回予定していたが、感染症予防対策として6月のみの実施となった。その他、通報訓練と水害避難訓練も実施した。

実施日	想定災害	訓練内容	参加者				
			利用者				職員
			生活介護	就労移行	就労B型	自立支援	
4月13日	火災	避難訓練	29	2	8	3	22
5月18日	〃	〃	26	2	8	2	22
6月18日	〃	〃	26	2	9	2	17
6月20日	〃	消防総合訓練	30	2	8	2	23
7月11日	〃	避難訓練	24	2	8	3	16
8月8日	〃	〃	19	2	7	2	20
9月12日	〃	〃	22	2	8	3	21

10月13日	火災	避難訓練	25	1	7	1	19
11月16日	〃	〃	23	0	4	2	16
12月5日	〃	〃	21	2	8	2	17
1月17日	震災	〃	27	2	8	3	15
2月15日	火災	〃	26	2	8	3	13
3月11日	震災	〃	24	2	5	2	12
3月28日	水害	水害想定避難訓練	2	1	1	3	4

(11) 職員研修

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会・会議に参加した。

① 機関研修

研修日	研修名	場 所	主 催	職種
4月26日	障害者雇用の現状と今後の方向性について	エルシアター	NPO 法人大阪障害者雇用	支援員
5月31日	ビジネスマナー研修	ふれあいの里 (オンライン)	法人事務局	〃
6月5日	地域における障がい者についての支援体制	大阪府社会福祉会館	一般社団法人 大阪知的障害者福祉協会	施設長 支援員
6月7日	茨木保健所管内集団給食研究会	安威川ダム事務所	茨木保健所研究会	栄養士
6月19日	北摂ブロック栄養士連絡会	高槻子ども未来館	北摂ブロック栄養士 連絡会	〃
6月19日 7月24日 8月21日	高次脳機能障害入門講座2	ふれあいの里 (オンライン)	京都市高次脳機能障 害者支援センター	支援員
7月6日	令和5年度権利擁護研修	大阪府社会福祉会館	一般社団法人大阪 知的障害者福祉協会	〃
7月18日 7月28日 8月4日 8月7日	令和5年度第1回障がい児者施設の虐待防止研修	ふれあいの里 (オンライン)	大阪府社会福祉協議会	〃
7月31日	強度行動障がいのある人の地域での暮らしを考える	高槻市立 障害学習センター	社会福祉法人 北摂杉の子会	〃
8月7日	第45回てんかん基礎講座1	ふれあいの里 (オンライン)	公益社団法人 日本てんかん協会	〃
8月9日	令和5年度人権啓発学習会	摂津市産業支援ルーム	摂津地区人権推進 企業連絡会	〃
8月15日	第45回てんかん基礎講座2	ふれあいの里 (オンライン)	公益社団法人 日本てんかん協会	〃

8月18日	衛生研修	ひびきはばたき園	株式会社イーズニック	支援員
9月 4日	就労支援におけるアセスメントの実施方法	大阪障害者職業センター	大阪障害者職業センター	〃
9月 8日	2023年度近弁連高齢者・障害者の権利に関する連絡協議会夏期研修会	ふれあいの里 (オンライン配信)	近畿弁護士連合会 高齢者・障害者の権利に関する連絡協議会	施設長 代理
9月11日 10月18日	令和5年度強度行動障がい支援者養成研修(基礎)	アネックス法円坂	大阪府障がい者自立相談支援センター	支援員
9月22日	令和5年度安全運転管理者講習会	吹田市文化会館 メインシアター	大阪府公安委員会	施設長
9月22日	栄養プロセス研修	茨木保健所	大阪府	栄養士
10月 4日 10月 5日	令和5年度サービス責任者等基礎研修	ふれあいの里 (オンライン)	大阪府障害者福祉事業団	支援員
10月24日 10月25日	令和5年度サービス責任者等基礎研修	大阪府社会福祉会館	大阪府障害者福祉事業団	支援員
11月 1日 11月 2日	令和5年度サービス責任者等基礎研修	大阪府社会福祉会館	一般財団法人大阪府地域福祉推進財団	〃
11月 6日 11月 7日 11月 8日 11月10日	令和5年度人権研修	ふれあいの里 (オンライン)	摂津宥和会	〃
11月14日 11月24日	第2回感染症予防対策講習会	〃	大阪府地域福祉推進財団	〃
11月15日 2月14日	社会福祉士実習指導者講習会	〃	しかくの学校	〃
11月22日	就労支援基礎講座	クロスパル高槻	高槻市障がい者就業・生活支援センター	〃
11月29日	個人情報保護研修会(基礎コース)	ふれあいの里 (オンライン)	大阪府社会福祉協議会	〃
11月29日	令和5年度施設マネジメント研修	摂津市役所	摂津市資産活用課	施設長 代理
11月29日	障がいのある方のその人らしい働き方を考える	ふれあいの里 (オンライン)	社会福祉法人北摂杉の子会	支援員
12月 4日	虐待・不適切支援を防ぐ組織管理	大阪府社会福祉会館	一般社団法人大阪知的障害者福祉協会	施設長
12月22日	令和5年度大阪府障がい者虐待防止・権利擁護研修	たかつガーデン	大阪府	施設長 代理
12月28日	偏平足・ハイアーチ・外反母趾・内反小趾に対する徒	ふれあいの里 (オンライン)	株式会社 WORKSHIFT	理学 療法士

	手療法と筋力強化研修			
1月15日 1月23日 1月25日	虐待防止研修	ふれあいの里 (オンライン)	摂津宥和会	支援員
1月22日 1月23日 1月24日	令和5年度第3回 就業支援基礎研修	クラブウ本社ビル	大阪障害者職業センター	〃
1月15日 1月25日	障害者虐待防止研修及び 障害福祉サービス事業所 等における業務継続計画 作成支援に関する研修	摂津市立地域福祉活 動支援センター	摂津市障害者地域自 立支援協議会	施設長 支援員
2月14日 2月16日	実習指導新カリキュラム におけるソーシャルワーカー	ふれあいの里 (オンライン)	しかくの学校	支援員
10月11日 11月8日 1月10日 2月14日 3月13日	管理職研修	法人事務局	摂津宥和解	施設長 施設長 代理 主幹

② 専門研修

食中毒予防講習会のみ開催された。北摂ブロック栄養士研修会は「案件」がある場合メールでのやり取りをした。

研修日	研修名	場 所	主 催	職種
7月6日	食中毒予防講習会	茨木保健所	大阪府	栄養士

③ 施設内研修

研修日	研修名	講 師	職 種
8月18日	令和5年度衛生研修	(株) イーズニック	施設長他

(12) その他

① ボランティア受け入れ状況

担当者を設け、利用者の対人関係の拡大、体験学習、福祉の啓発を目的に受け入れをし、施設の社会化の一環とする。今年度は、「つく展と輝けコンサート」に関西電力労働組合北摂支部より5名の参加があった。

② 実習生の受け入れ状況

支援学校からの実習は、教育の一環として作業学習や、施設生活を体験することと、進路選択を行うため広く受け入れた。

(実習生)

実習期間	学校、施設名	受け入れ先	人数
5月16日～22日	フレイ（生活介護事業所）	就労移行支援	1
5月12日～24日	摂津支援学校	就労継続支援B型	1
5月25日～26日 8月18日・19日	リールスライフ玉島台 （生活介護事業所）	生活介護	1
7月10日～14日	アセスメント実習	就労移行支援	1
7月26日～28日	摂津支援学校	生活介護	1
7月31日～8月2日	茨木支援学校	就労移行支援	1
8月1日～10月27日	摂津支援学校	〃	9
8月8日～10日	茨木支援学校	就労継続支援B型	1
8月22日～24日	〃	自立訓練	1
10月3日～10日	摂津支援学校	就労移行支援	1
11月6日～8日	〃	自立訓練	1
12月4日～6日	〃	〃	1
1月16日～18日	〃	〃	1
1月26日	〃	生活訓練	1
1月29日	茨木支援学校	〃	1
2月5日～7日	摂津支援学校	自立訓練	1

③ アフターケア

障がい者の自立と豊かな地域生活への実現に向けて、本人の希望や家族の状況に応じて進路選択や決定の支援を行った。また、進路先へのスムーズな移行のために調整や引継ぎなどの支援も行った。

（13）新型コロナウイルス感染症の取扱いについて

令和5年5月8日から5類感染症となりましたが、園では引き続き2類感染症の予防対策を継続し、感染症の脅威から利用者の健康と安全安心な生活を守る取り組みの維持に努めました。